



1_「内閣総理大臣賞」に選ばれた鈴木工人の作品 2_会場には外国の方も多く訪れていました 3_正月の恒例行事「初挽き」を再現した鈴木工人 4_「山崎パニラ賞」を受賞した安藤さん 5_親子で楽しめるこけしの絵付けコーナー。今年はコンテストも開催されました 6_一番乗りの渡邊さんに記念こけしを贈呈

■市内在住の受賞者一覧(敬称略)

賞名	部	作品名	受賞者名
国土交通大臣賞	2	梅衣(紫)	佐々木 功
林野庁長官賞	1	栄治型11.5号	新山 吉紀
観光庁長官賞	3	花乙女	渡辺 邦彦
経済産業省製造産業局長賞	2	はにかみ(2本組)	高橋とし子
全日本こけしコンクール会長賞	1	西田蔵袴付き重菊9号	佐藤 保裕
全日本こけしコンクール会長賞	2	春想 二本組	加賀沼昌行
岩手県知事賞	1	本人型まげ10.5号	新山 実
青森県知事賞	1	福雄型8.5号	新山真由美
登別市長賞	2	くびかざり(白)	佐々木美穂
仙台商工会議所会頭賞	1	小原こけし(作り付け)8号	星 定良
仙台放送賞	1	木目10号	佐藤 早苗

第61回全日本こけしコンクール
ほほえみの年輪をかきぬて

5月3日から5日までの3日間、日本最大のこけしの祭典「第61回全日本こけしコンクール」をホワイトキューブで開催し、約2万8,000人のこけしファンが訪れました。61回目となる今年のコンクールには、伝統こけしや新型こけしなどの5部門に、全国や海外の工人など152人から740点の作品が出品されました。厳正な審査の結果、最高賞となる内閣総理大臣賞には鈴木征一工人(山形県大蔵村)の肘折系伝統こけし「本人型ガラ入れ10号」が選ばれました。

初日の開会式では、4月11日から待ち続け、会場に一番乗りした神奈川県からお越しの渡邊玲さんに、1尺5寸の記念こけしが贈呈されました。また、市内の小学生在が絵付けしたこけしを審査する「山崎パニラ賞」の表彰式も行われ、最優秀賞に安藤紅音さん(越河小)の作品が選ばれました。会場では期間中、工人の実演販売や地場産品の販売、こけしの絵付け体験やコンテスト、天皇陛下御即位を記念したパネル展など、イベントが盛りだくさんの3日間となりました。



1_開祭式で書かれたまつりのテーマ「繫」 2_「奥州白石噺」を題材にした田町自治会の太鼓山車 3_山崎パニラさんと山田市長の軽快なトークで会場が盛り上がりしました 4_「U.S.A.」の演奏とダンスを披露した市民吹奏楽団 5_新企画の白石わんこ温麺大会。5分間で200杯を超える大記録を達成! 6_白石市消防団伝統階子乗り隊の演技 7_ズシリと来る50kgの米俵。賞品を目指して奮起! 8_片倉鉄砲隊の火縄銃一斉射撃

白石城エリアでは、片倉鉄砲隊による火縄銃演武が行われ、撃ち放ちの轟音に大きな歓声と拍手が沸き起こりました。「繫」トークショーやお笑いミニライブ、「白石わんこ温麺大会」などが行われ、観客を盛り上げていました。また、駅前エリアでは、和太鼓の演奏や米俵相撲大会、長町・中町エリアでは、よさこい団体による演舞などが披露されました。

晴天に恵まれた5月3日、白石の春の風物詩「白石市民春まつり」が開催され、市内中心部が約4万2,000人の人出で賑わいました。まつりのメインとなる「しろいし大行列」では、神明社の御輿渡御を先頭に、稚児行列に先導された太鼓山車、威勢の良い大人神輿・子供神輿、騎馬武者や甲冑武者などが続きました。白石市観光大使の山崎パニラさんも駆けつけ、参加した約1,000人が長町・中町通りを練り歩きました。

白石市民春まつり